

豊野地区住民自治協議会だより

第 89 号

令 7 年 12 月 1 日 発行者: 豊野地区住民自治協議会

事務局(豊野支所内) TEL・FAX 217-6638 メール: jimukyoku@toyonojjk.com

豊野町人口 男 4,448 人 (65 歳以上 1,380 人) 女 4,657 人 65 歳以上 1,728 人 (令和 7 年 10 月 1 日現在)

展示発表交流会

9 月 4 日(木) 豊野防災交流センターにてボランティア展示発表・交流会を開催しました。今年は発表に 13 団体の参加があり約 90 名の方にご来場いただきました。

イケダバンドの演奏でスタートし、エンジョイウクレレ「モアナーズ」では“金色夜叉”の演劇をユーモアを交え発表いただき、会場の笑いを誘いました。

スコップ三味線「シャベラーズとよの」は“マツケンサンバ”を会場の皆さんと踊れるように工夫し、とても盛り上がりました。

ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



西地区育成会

6 月 1 日(日) 立町公会堂にて親子レクリエーションとしてバーベキューを行いました。大人と子供みんなで協力しながらお肉を焼いたり、チーズフォンデュやチョコフォンデュをして楽しみました。

特にバーベキューコンロは火力が一定ではないので、マシュマロは焦がさないようにクルクル回しながら焼くなど、子供同士アドバイスをしながら工夫していました。

食後は外で虫を捕まえたり、ボールや水鉄砲で遊び、大人も子供も良い交流ができました。



令和元年東日本台風災害の日を忘れない

10.13を伝えていく集い

10月13日(月)、「令和元年東日本台風 10.13 を伝えていく集い」が豊野防災交流センターで開催され、被災の経験を忘れずに未来に語り継ぎ、安心して暮らしていける「豊野」を地域一丸となってつくり上げようとの決意を新たにしました。



村山実行委員長

災害の犠牲者に黙祷を捧げた後、「10.13 を伝えていく集い」実行委員会の村山委員長が、「復旧復興にご尽力頂いた市や県を始めとした関係機関の皆様、ボランティアの方々、地域住民の皆さんに心より感謝するとともに、この経験を決して風化させることなく次の世代へ教訓を伝え、災害に強い安全安心なまちづくりを進めていきましょう」と挨拶しました。また、豊野地区治水等復興対策特別委員会の善財委員長、倉石副委員長が、治水等復興対策特別委員会のこれまでの取組を報告しました。

第1部「災害を未来に語り継ぐ」では、善財三枝子さんは、不幸な出来事であったが、これからも同じ時代、同じ場所で皆さんとともに元気で暮らしていきたいと話されました。

被災当時水内荘の所長だった小島健一さんは、防災とは福祉であり、人と人を繋いでいるのは福祉で、繋がりを育むことが強い地域になると強調されました。



善財 三枝子さん



小島 健一さん



野口 一輝さん

長野市災害ボランティアセンター豊野サテライトの運営に携わった野口一輝さんも、地域の繋がりの大切さを強調。避難所への避難、避難所や自宅での生活、復興を進める中で、地縁のある「人」と「人」の繋がりが非常に大きな力になると訴えました。また当時、豊野地区消防団の皆さんが、週末に被災家財の搬出に協力されたことを報告されました。

第2部では、長野県環境保全研究所自然環境部の栗林正俊先生が「気候変動の実態とその影響」と題して、最近の気象現象の変化について講演されました。



栗林 正俊先生の講演

日降水量が1mm以上の年間日数は減少して、雨が降るときはどっと降る傾向にあり、最近「50年に一度の大雨」との表現がよく使われている。気象統計開始以来135年の歴史の中で、日最大降水量が100mmを超えた年は7回だけで、そのうち1980年以降5回で、2019年東日本台風もその1つとのこと。

地球温暖化に伴う海水温度の上昇と大気中の水蒸気量の増加は、台風を強化して降水量を増やすだけでなく、強風域の範囲も拡大させていると言います。長野県は山岳地帯が多く、2019年10月には東信の上信越県境の山岳地帯で48時間200～300mmの降水量を観測、その結果千曲川に洪水をもたらした長沼で破堤するなど大きな被害をもたらしたと説明されました。

もし、千曲川に流れ込む犀川、高瀬川、裾花川等の地域に多くの雨が降ったとしたら、被害はもっと大きかったことが推測されるので、地域を挙げた災害に強い安全安心なまちづくりが求められます。

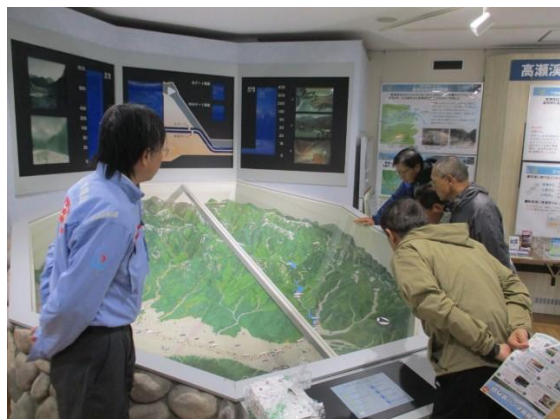
◆大町ダム等再編事業を視察

9月25日、豊野地区治水等復興対策特別委員会は、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの一つである大町ダム等再編事業について、大町ダム情報館と土砂輸送用トンネル工事現場を視察しました。現場では国交省北陸地方整備局の大町ダム管理所から、東京電力が管理する高瀬ダムと七倉ダムの発電容量の一部及び国土交通省が管理する大町ダムの水道容量の一部を活用し、新たに1,267万 m^3 の洪水調節容量を確保する説明がありました。これにより、既設3ダム合わせて3,267万 m^3 （25mプール約54,500杯分）の調節容量を確保できるようになります。国土交通省と東京電力が連携して洪水を貯め込む操作運用を行うことにより、高瀬川及び犀川はもとより千曲川本川への流下時間を遅らせ、下流の流量をさらに低減させるものです。

また、将来にわたり洪水調節容量を維持するため、高瀬ダムの堆砂対策として、令和11年度までに高瀬ダム上流から大町ダム下流までの間において土砂輸送トンネル、ベルトコンベア（約11km）などの整備を行う予定です。

流域全体の治水対策の一つとして、本事業により長期的に安定的に治水機能や利水機能が確保され、下流域の治水安全度の一層の向上を期待しています。

大町ダム情報館 館内説明の様子



土砂輸送用トンネル工事現場



地域振興部会

9月27日（土）豊野駅南ロータリー植栽帯の整備を行いました。早朝にも関わらず部会員11名が参加してくださり、30分程で作業は終わりましたが、軽トラック3台分の刈草が出て駅前ロータリーがとても綺麗になりました。



10月19日（日）つつじ山遊歩道整備を行いました。肌寒い朝でしたが、20名の皆さんにご参加いただきました。遊歩道を覆うツルや草などを取るなど大変な作業を約1時間行い、とても歩きやすくなりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



豊野地区住民自治協議会 Instagram



イベント情報や活動などを発信していきます。

TOYONOHARA



第1回 田中 愛美さん

地域で頑張っている方のイラストなどを掲載するコーナーを始めました。私も載せたい！という方は住民自治協議会へご連絡ください。

連載コーナー

食楽の会

(旧食生活改善推進協議会)

10月17日(金)豊野西小学校5年1組の児童と保護者の総勢65名で、切り干し大根のおやき・リンゴケーキ・にらたま汁の調理実習をしました。おやきは作るのが初めてという方が多く、皆さん丁寧に包んでいました。子どもたちはリンゴを一生懸命薄く切って、出来上がったリンゴケーキを見て感動していました。子どもたちと保護者とわいわい楽しい調理実習になり、最後にみんなで美味しくいただきました。



福祉健康部会



8月21日(木)豊野防災交流センターにて福祉バザーを開催しました。未使用の寝具類、食器類を販売し67,894円の売り上げになりました。バザーの準備から開催まで多くの方にお手伝いいただき、当日は会場で「知り合いと久々の再開」などの場面もみられ、みんなで作り上げた福祉バザーになりました。

売上金は全額、豊野地区の福祉基金に積み立てました。今後の福祉活動に活用させていただきます。

南郷地区福祉会



7月28日(月)南郷公会堂にて交流会を開催しました。おやき、漬物、お菓子を食べながら地域の方34名の参加があり和気あいあいとおしゃべりをして盛り上がりしました。

また、中央警察と豊野交番の方に「オレオレ詐欺」「海外からの詐欺電話」の手口を人形劇でわかりやすくお話していただきました。参加した方から後日「早速詐欺電話ブロックを登録したよ」と言っていただき開催して良かったなあと思いました。

豊野東地区福祉会



6月26日(木)森の灯りキャンプ場内にある「茶亭 森の灯り」にて交流会を開催し23名の方にご参加いただき、和モダンな隠れ家空間で本格的なアフタヌーンティーセットと紅茶をいただきました。

ウクレレの演奏もあり、おいしいお菓子とおしゃべりを楽しみました。参加されたほとんどの方が「アフタヌーンティーセットは初めて」ということで、「非日常空間でいい体験ができて楽しかった!」ととても喜んでいただけました。



御礼

皆様のご支援・ご協力ありがとうございます



◆福祉健康部会協力金

2,569,000円

◆ヨイショコまつり寄付金

776,500円

◆有害鳥獣対策協力金

494,400円



地域福祉活動に有効に活用させていただきます。 ◆野菜のご寄付 矢島 美文様ほか

ご案内
参加申込不要

・とよのすこやかクラブ(はつらつ体操) 会場:かがやきひろば豊野 日時:毎週水曜日 10:00~11:15

・おれん家カフェ(お茶のみサロン) 会場:かがやきひろば豊野 日時:毎月第4木曜日 10:00~11:30

・子育てサロン 会場:かがやきひろば豊野 日時:毎月第2・4火曜日 10:00~11:30